

## 11月15日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①米、ガザ病院攻撃に自制要求 イスラエル再占領は反対(2023年11月13日)

【ワシントン共同】サリバン米大統領補佐官は 12 日放送の CBS テレビのインタビューで、パレスチナ自治区ガザ北部の病院を攻撃したイスラエルに自制を求めた。「米国は病院での戦闘を望まない。治療を受ける患者が巻き込まれるのを見たくない」と述べた。イスラエルによる戦闘終結後のガザ再占領に反対する立場を改めて強調し、統治の形はパレスチナ人が決めるべきだと訴えた。

サリバン氏は同時に、ガザを実効支配するイスラム組織ハマスが病院や民間施設を司令部や武器庫、戦闘員の居住に利用していると非難した。「ガザが二度とテロリストの拠点として使われてはならない」と語った。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/ad284fcacdc1384cfc9759198274eb8c9a43c229/images/000>

### ②チェルヴィンスキーの証言(2023年11月12日)

元ウクライナ情報部員のロマン・チェルヴィンスキーは、ゼレンスキーが 2022 年 2 月にウクライナから逃げなかったのは、ロシア軍がキエフ市内に到達したらすぐに降伏する準備ができていたからで、ウクライナ人が侵略に抵抗できるとは考えていなかったと主張している。

<https://twitter.com/MWT021/status/1723664680366059717?s=09>

※安齋注:ロマン・チェルヴィンスキーはノルドストリーム爆破事件でウクライナ側の6人を束ね、管理していた人物。

### ③ゼレンスキーと将軍たちとの「戦争」(2023年11月12日)

ゼレンスキー大統領は将軍たちと「戦争状態」にある、と Asia Times 紙が報じている。

スティーブン・ブライエン元米国防次官補は自身のブログ「武器と戦略」で、ウクライナ情報機関のトップであるブダノフは、ロシアと和平を結ぶ為、ゼレに敵対する将軍達の陰謀を指揮する可能性がある」と述べている。

スティーブン・ブライエンによれば、共謀者たちはゼレンスキーにロシアとの和平交渉を強要するか、大統領を別の人物と交代させる可能性があるという。



<https://twitter.com/tobimono2/status/1721882888189469060?s=09>

#### ④ウクライナ軍によるテロ(2023年11月8日)

親口派政治家が車爆弾で死亡

ルガンスク人民共和国のフィリポネンコ副議長が殺害された。

ウクライナ軍事情報局が犯行声明を出した。

「フィリポネンコ氏殺害の『特別作戦』を実施した」



<https://twitter.com/ashtwice/status/1722241433644789962?s=09>

#### ⑤EU 諸国は依然としてロシアのガスを購入 - ガСПロム(2023年11月11日)

ブリュッセルはこれまで、制裁を受けた国からのエネルギー供給への依存を克服したと主張していた。

ガスピロムのアレクセイ・ミラー最高経営責任者(CEO)は、ロシア国営放送 Rossiya-1 とのインタビューで、以前はロシア産ガスの購入を完全にやめると主張していた EU 諸国の多くが、現在もロシア

産ガスの供給を受けていることを明らかにした。

同 CEO は、EU 諸国が受け入れているロシア産ガスの量について詳細は語らず、パイプラインを流れるガス分子は ”国ごとの色分けはない ”と述べた。

「しかし、消費拒否を宣言している多くの国々にロシアのガスが供給されていることは知っている」とミラーCEO は述べた。

同 CEO は、欧州連合(EU)加盟国 27 カ国のうち、ロシアから天然ガスの供給を受け続けている国の名前は挙げなかったが、「ロシアは現在、ウクライナを経由してオーストリアのバウムガルテンにある欧州最大級のハブに天然ガスを送っている」と述べた。

「バウムガルテンはヨーロッパで最大規模のハブであり、EU 全域の他の国々にガスを供給している。同経営幹部によると、既存の契約では、ロシアはヨーロッパの南部と南東部の国々にガスを供給し続けている。

「もちろん、ロシアのガスは今もヨーロッパ市場に供給されており、その量は決して少なくない。

2022 年、ノルド・ストリーム天然ガスパイプラインが破壊され、オランダ、デンマーク、ブルガリア、フィンランドなど多くの EU 加盟国が燃料のルーブル建て支払いを拒否したため、EU 市場へのロシアガスの供給が減少し始めた。

昨年の EU 制裁に対し、モスクワはロシアに対する国際的な制限キャンペーンを支持する国々に対し、ロシア産ガスの代金をドルやユーロではなくルーブルで支払うよう要求した。

ロシアからの供給減を背景に、EU 圏は液化天然ガス(LNG)の購入を増やさなければならなかった。2022 年末時点で、EU は中国、日本、韓国といった長年のリーダーを抜き、世界最大の LNG 購入国にランクされた。

昨年、米国は EU 市場への LNG の主要輸出国となり、ロシアは LNG の出荷量を 20%増加させた。

今年初め、欧州委員会のウルスラ・フォン・デア・ライエン委員長は、EU はロシアの石油とガスへの依存を克服することができたと述べ、モスクワは EU へのガス輸出を 80%削減したと付け加えた。同様の主張はドイツのオラフ・ショルツ首相も述べている。



アレクセイ・ミラー

<https://www.rt.com/business/587060-gazprom-miller-russian-gas-eu/>



午後5:30 · 2023年11月12日 · 2万 件の表示

## ⑥ゼレンスキー「永遠の権力」憲法上の抜け穴(原伸一、2023年11月12日)

<https://youtu.be/gq8To8g1Jg0> 約5分半

ここに、次の規定があります：

「ウクライナ最高議会は、通常の大統領選挙が行われる130日前までに、選挙の実施を決定しなければならない。」

つまり、2024年3月31日より130日前、今年の11月22日までに、ウクライナ最高議会は年明け3月31日に大統領選が実施されることを決定し国民に知らせなければなりません。

ところがウクライナ最高議会は何をを行ったかといえば、11月8日のHara Blogに掲載しましたが、来年2月14日までの戒厳令の延長を決定しました。つまり選挙実施を決定する11月22日の時点ではまだ戒厳令下であり、さらに選挙が予定される来年3月31日時点でも戒厳令が延長されている

**Article 17. Terms for Calling and Conducting Elections**

1. Ordinary elections of the President of Ukraine shall be conducted on the last Sunday of October of the fifth year of the term of the President of Ukraine.
2. The Verkhovna Rada of Ukraine shall take a decision on calling ordinary elections of the President of Ukraine no later than one hundred and thirty days prior to the day of elections. The Verkhovna Rada of Ukraine shall ensure the publication of the decision to call ordinary elections of the President of Ukraine in the mass media.
3. The election process of ordinary elections of the President of Ukraine shall begin no later than one hundred and twenty days prior to the day of elections.
4. Extraordinary elections of the President of Ukraine shall take place on the last Sunday of the ninety-day term from the day of

<https://www.youtube.com/watch?v=gq8To8g1Jg0>

## ⑦ロシア北極圏プロジェクト「アークティック LNG-2」に米国が制裁 マスコミはエネルギー市場の混乱を懸念 日本への影響は？(2023年11月12日)

11月2日、米財務省はロシアの北極圏での「アークティック LNG-2」プロジェクトを制裁リストに追加した。フィナンシャル・タイムズ紙(FT)はこれについて、LNG 輸出でロシアが主要国とならぬよう阻止を狙う米政府の意向とみて、国際エネルギー市場に混乱を招くと懸念を表している。

FT は制裁を、米国は「ロシアの LNG 輸出能力を初めて直接的な標的にした。国際エネルギー市場は震撼しかねない」と書いた。

米コンサルティング会社 Energy Aspects は FT に対し、米国の制裁でエネルギー市場は縮小すると憂慮しており、米コロンビア大学のガス専門家アン＝ソフィー・コーボ氏も、プロジェクトの輸出開始が計画の 2024 年に開始できなければ、市場の緊張は「長期にわたる」と語っている。

日本にとっては重要なプロジェクト

「アークティック LNG-2」を主導する露ガス大手「ノバテク」のレオニード・ミケルソン CEO はスプートニクに、プロジェクトの日本へのガス供給見込みは年間 200 万トン超は固いと語っている。日本は三井物産と石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)との共同出資会社を通じ、プロジェクトの権益の 1 割を保有する。

日露関係が悪化しても、ロシアのエネルギープロジェクトに参画し続ける重要性は日本には大きい。経済産業省が 6 月 30 日に発表の「ウクライナ情勢に関する外国為替及び外国貿易法に基づく措置」では、日本は「建築及びエンジニアリング分野のサービス提供禁止措置」を実施しても、「サハリン 1」「サハリン 2」「アークティック LNG2」は、自国のエネルギー安全保障のため特に必要として、措置の対象外となっている。

ポスト石油戦略研究所の大場紀章代表は「アークティック LNG2」について、以前スプートニクに対し、「日露で進めてきた非常に大きなプロジェクト。施工も日本のプラントメーカーだ。日本がここから撤退するのは、むしろ日本にとって大きな痛手になる」と述べていた。



<https://sputniknews.jp/20231112/lng-2-17651115.html>

## ⑧ ザルジニー氏の補佐官がキーウ近郊で殺害されたと、ウクライナ軍最高司令官が確認した(2023年11月6日)

キエフ地方のチャイキー村で手榴弾が爆発した結果、軍人が死亡したと国家警察の報道機関が報じた。

「予備情報によると、39 歳の軍人が手榴弾の爆発で死亡した。13 歳の息子が重傷を負う。男は医師の監督下にある」と警察は書いている。

その後、軍の最高司令官ヴァレリー・ザルジニーは、彼の助手であった軍人の死亡を確認しました。「ウクライナ軍と私個人にとって、筆舌に尽くしがたい痛みと大きな損失」とメッセージには書かれている。

ザルジヌイは、11 月 6 日に「悲劇的な状況下で、彼の誕生日に、彼の助手であり親友であったゲンナジー・チャチャヤコフ少佐が家族の輪の中で亡くなった」と述べた。

「贈り物の 1 つで未知の爆発物が爆発しました。ゲンナジーは妻と 4 人の子供によって生き延びた。

ご家族に心からお悔やみを申し上げます」とウクライナ軍最高司令官は付け加えた。

「現場では捜査が進行中です。訴訟は、人の死の事実と弾薬の違法な取り扱いの2つの条文に基づいて開始されました。息子は生きています。彼は病院にいて、治療を受けています」と、ウクライナ国家警察の広報担当者であるオレナ・ベレズナは、ラジオ・リバティへのコメントで確認した。

同時に、内務省のマリアナ・レヴァ報道官は、ラジオ・リバティへのコメントで、チスチャコフが誕生日に戦闘手榴弾を贈られたため、調査で検討されている主な暫定版は弾薬の不注意な取り扱いであることを確認した。



ヴァレリー・ザルジニーは、11月6日に「悲劇的な状況下で、彼の誕生日に、彼の助手であり親友であるヘンナディイ・チャチャコフ少佐が家族の輪の中で亡くなった」と述べた

<https://www.radiosvoboda.org/a/news-zaluzhnyy-zahybel-chastyakov-hranata/32673537.html?s=09>

🕒前線でロシアの激しい砲火にさらされた後、撤退するウクライナ兵士の一団(2023年11月12日)

<https://twitter.com/i/status/1723560055784743194>

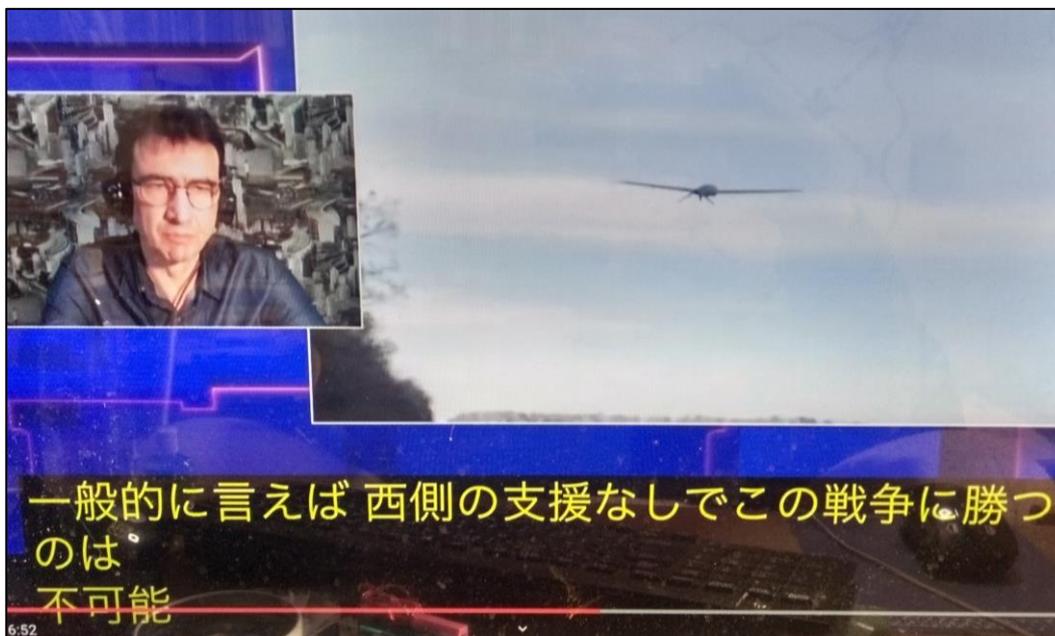


<https://twitter.com/tomtomt0121/status/1723560055784743194?s=09>

## ⑩ウクライナ ヴァレリー・ザルジーニ將軍は、『英エコノミスト』誌に寄稿したエッセイの中で戦争継続を悲観的に書いたのか？（ポーランド国営放送、2023年11月9日）

※安齋注：翻訳が自動翻訳で不正確だし、分かりやすい動画ではありませんが、国立戦略研究所のオレクシー・イズハク氏がウクライナ戦争の現実をどう見ているか、大体は理解できるでしょう。17分ほどの動画です。

<https://youtu.be/HcOXTvsKsEo>



## ⑪ウクライナの女性たちの強制動員反対デモ(2023年11月13日)

ウクライナの各都市( Zhitomir, Khmelnytsky, Lvov)で、女性達が強制動員に反対するデモを行った。Kiev, Kharkov, Odessa から来た女性達もいた。夫らを召集された女性達は、”心理的”反攻作戦をこれ以上遂行しないよう政府に嘆願している。

<https://twitter.com/i/status/1723937302454686067>



<https://twitter.com/sightsight/status/1723937302454686067?s=09>

## ⑫ウクライナの寄付のための新戦略？(2023年11月10日)

ウクライナは寄付のために新しい戦略を開始したようだ。これを見て寄付する人なんているのだろうか？で、どこに寄付したらよい？

<https://twitter.com/i/status/1722917014514106554>

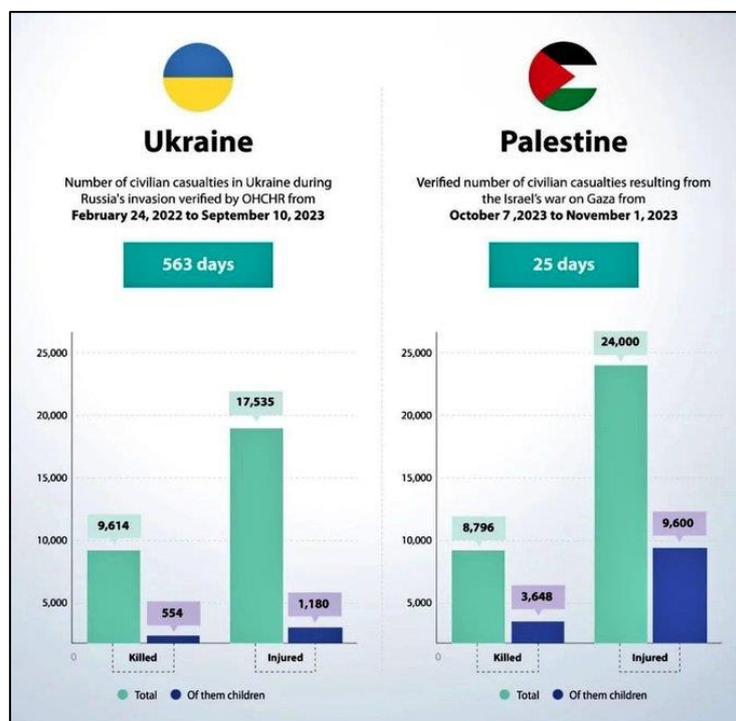


<https://twitter.com/martytaka777/status/1722917014514106554?s=09>

## ⑬ウクライナ戦争とイスラエル—ハマス戦争の民間人死者(2023年11月3日)

※投稿者コメント:西側メディアはウクライナで根拠のないロシア人による虐殺幻想を延々と広めてきた。

国連によると、イスラエルは25日間で2022年2月以降のウクライナ紛争で死亡した民間人よりも多くの民間人を殺害した制裁はないのか？ボイコットもなし？商業的撤退もなし？恥を知れ



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1720956981538967692?s=09>

## ⑭ナポリターノ vs.マクレガー、ウクライナ戦争の現実(2023年11月9日)

アンドリュウ・ナポリターノ 週末、ウクのザルジニー将軍は「エコノミスト誌に対し”ロシアとウクライナの戦闘は膠着状態に達した”と語っている。

ゼレンスキーは怒りを爆発させ将軍の発言を非難した。

何が起きていると思いますか？

退役米陸軍大佐ダグラス・マクレガー 膠着状態ではない。

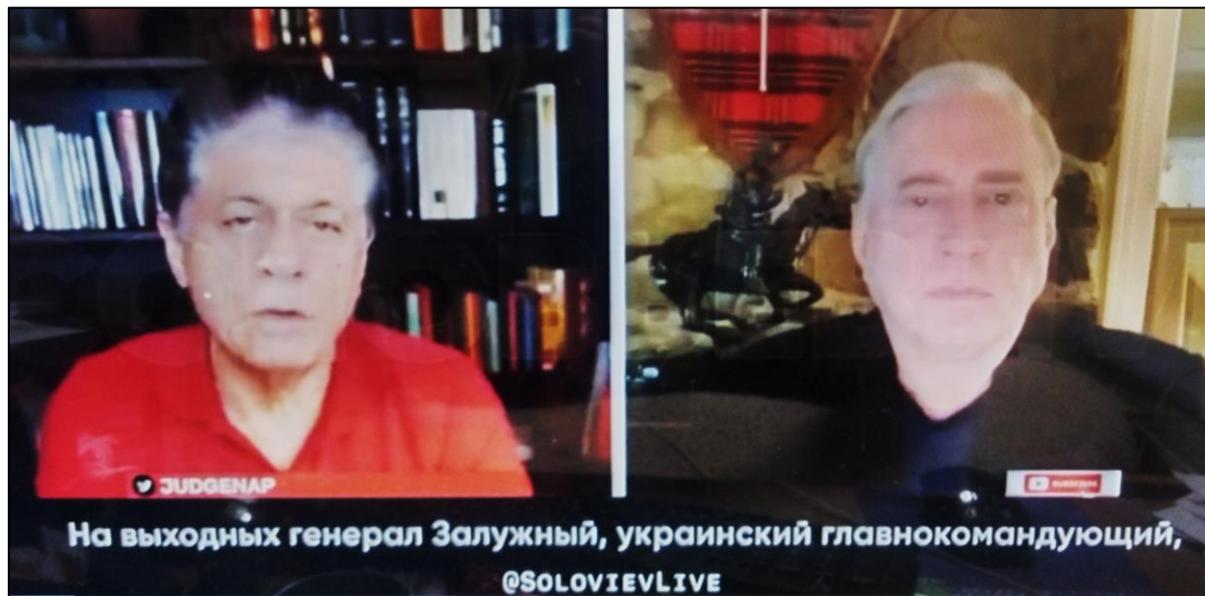
ウクライナは敗北した。

ウクライナ軍は敗北しロシア軍は前進している。

そして彼らが前進する先々では、ほとんど抵抗を受けていない。

アヴデフカはウクライナ人が防衛を組織しようとした町の一つだが結局は破壊されウクライナ人にとってもう一つのバフムートになってしまった。

<https://twitter.com/i/status/1722541618383946068>



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1722541618383946068?s=09>

## ⑮ゼレンスキー政権内不和か 米誌タイム報道、波紋広がる(共同通信、2023年11月03日)

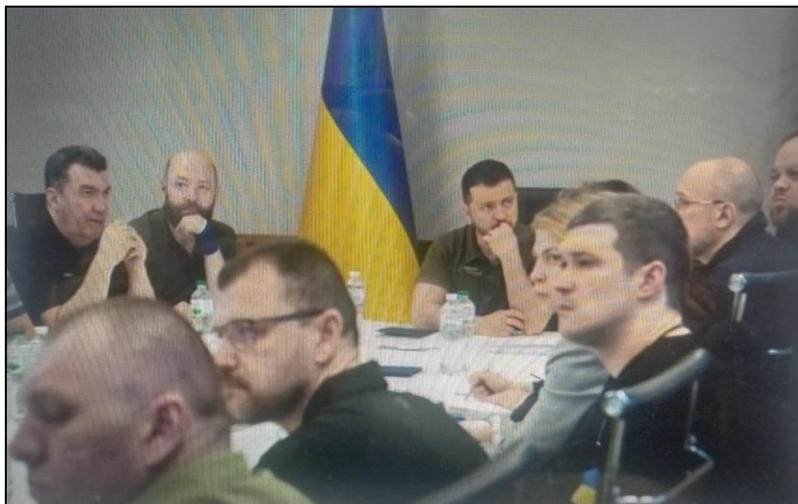
【キーウ共同】ウクライナのゼレンスキー大統領が対ロシア戦勝利に固執し、新たな戦略や方向性を打ち出すのが難しくなっているとの匿名の政権高官発言を米誌タイムが報じ、波紋を広げている。侵攻が長期化し、国際社会の支援継続が不透明さを増す中、政権内部の不和を示唆する内容。側近は火消しや発言者捜しに躍起になっている。

記事は10月30日に公開された「ゼレンスキーの孤独な戦い」。ロシアやウクライナでの取材経験が豊富な記者によるゼレンスキー氏本人や複数の政権関係者へのインタビューを基にしている。

ゼレンスキー氏は「私ほど勝利を信じている人間は誰もいない」と訴えたが、側近の一人は「大統領の頑固さが、戦略や方向性を示そうとする政権の努力に水を差している」と指摘。全土奪還にこだわるゼレンスキー氏に早期の停戦交渉入りを持ちかけることはタブー視されているという。

また、ある高官は、侵攻当初に作戦会議で冗談を飛ばし周囲を和ませていたゼレンスキー氏が、最

近は報告を聞き命令を出すと、すぐ退室するようになったと明かした。

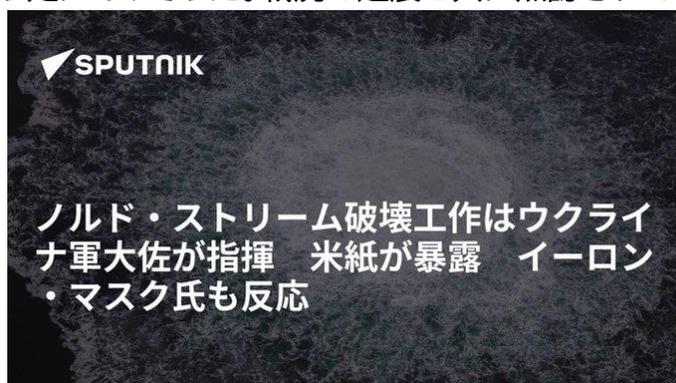


国家安全保障・国防会議を開いたウクライナのゼレンスキー大統領(奥左から3人目)=6月、キウ  
(ウクライナ大統領府提供・ゲッティ=共同)

<https://nordot.app/1093105762759540850?c=39550187727945729&s=09>

## ⑩ノルドストリーム爆破事件(2023年11月13日)

※一水会コメント:昨年9月のノルドストリーム爆破事件。ワシントン・ポストはウクライナ軍総司令官の命令を受けた、同軍大佐の犯行と報じた。イーロン・マスク氏も「興味深い」と言っているが、確かに真相は当時の速報と違う処にありそうだ。戦況の進展と共に黙認されていた嘘が明かされ始めた。



※あるツイッターのコメント:このワシントンポストの記事はかなり眉唾。Roman Chervinskyは、ゼレンスキーとイエルマークが葬った2020年のワグナー兵捕獲作戦でブルバ情報総局長とともに立案・実行に関与。ブルバは大統領府を公に批判し解任。ありえないことに要人警護も解かれる(≠ロシアの暗殺対象なので死刑判決に等しい)。

数多久遠 新刊 『航空自衛隊...』 · 8時間 ...

ノルドストリームは、爆雷による破壊だったら軍関係者でなくとも実行可能なものですが、潜水してピンポイントで破壊となれば、ウクライナの"特殊部隊"に実行可能とは思えません。

かなりの深度での作業であり、海軍の貧弱なウクライナ軍に実行できるとは思えませんね。

[https://twitter.com/issuikai\\_jp/status/1723941363677646917?s=09](https://twitter.com/issuikai_jp/status/1723941363677646917?s=09)